


## 就職支援希望アスリート「エントリーシート」

ふりがな	かわしまたずま	性別	生年月日・年齢
氏名	<b>川島 鶴楨</b>	<b>男</b>	1996年8月16日
競技団体・種目	走幅跳・三段跳	<b>22 歳</b>	
出身地	群馬県伊勢崎市		
現住所	千葉県印西市		
所属先	順天堂大学		
練習場所	順天堂大学(さくらキャンパス)		



【選手プロフィール】		
年	月	学歴・職歴
2015	3	前橋育英高等学校 卒業
2015	4	順天堂大学スポーツ健康科学部スポーツ科学科 入学
2019	3	順天堂大学スポーツ健康科学部スポーツ科学科 卒業見込み

■免許・資格

中学校・高等学校教諭第一種免許(保健体育)取得見込み

■国内大会の主な戦歴

年	月	大会名	戦歴
2014	10	第69回国民体育大会(高校時)	三段跳 15m38 優勝
2016	6	第100回日本陸上競技選手権大会	三段跳 15m85 7位
2017	4	第51回織田幹雄記念大会	三段跳 15m91 3位
2017	6	第101回日本陸上競技選手権大会	三段跳 15m74 7位
2017	9	第88回日本学生陸上競技対校選手権大会	走幅跳 7m97 3位
2018	5	2018水戸招待陸上	走幅跳 8m04 優勝
2018	6	第102回日本陸上競技選手権大会	三段跳 15m85 6位・走幅跳 7m77 7位

■自己PR(競技で培った能力や経験を通じて企業に貢献できる内容など)

私は自分の勝負どころが理解でき臆することなく果敢に挑むことができます。常に挑戦者でランキングが一位ということはありませんでした。跳躍競技では、予選三本の中でベストな記録を残さなければ決勝に進むことができません。その環境の中だからこそ勝負のタイミングを理解し、実行して予選はもちろんのこと全国においても結果を出してきました。陸上競技を始めたのは小学校三年生の時で短距離・中距離と楽しく陸上に取り組み、中学校から走幅跳をはじめ、高校生になってから三段跳にも取り組み徐々に記録が伸び始めました。全国大会を経験したのは高校三年生になってからで全国高校総体7位(三段跳)、国民体育大会優勝(三段跳)と実績を残しました。東京オリンピックまであと二年となりました。国際大会の経験こそないものの、国内では実力を示してきました。今後の試合ではオリンピックへの活躍を視野に入れ、記録はもちろん勝負を大切に競技を行っていきます。大学では陸上はもちろんのこと、スポーツ科学の勉強や教員免許(保健体育)を取得するべく勉強も行ってきました。その中でも教育実習があり、昨年、母校である前橋育英高校に教育実習を経験しました。そこで一人一人考えや行動の違う人への教えることの大変さ、教壇に立つ責任の重さ社会人としてのマナーなど自分の実習期間の至らなさに未熟さを痛烈に感じました。しかし、大学での多く貴重な体験を通して、陸上競技や大学生活を通して協力の大切さや人とのつながり、さらに人とのコミュニケーション能力を身に着けました。また、順天堂大学陸上競技部の部員数は260人近くおり、その中で副主将を務めています。普段は跳躍ブロック主任としての活動ですが、対抗戦の時期に入ると部全体を見渡し、試合に向けた意識づくりができていくか、練習内容に工夫が施されているかなど関東インカレ、全日本インカレを総合優勝に導くべく、常に先頭に立ち全体を見て行動していきます。採用していただきましたら自分の持っている能力を仕事の場でも活かし、陸上競技同様結果を出す努力は惜しまない覚悟です。また、競技以外の面でもリーダーシップを発揮し、率先して行動を起こし、会社に貢献していきたいと思っています。自分の持っているものをすべて活かし、陸上競技・職務に全力で取り組みたいと思います。

【支援先企業への情報】

就職希望条件	
①職種・仕事内容	どのような仕事内容にも全力で取り組ませていただきます。
②勤務地	千葉県・順天堂大学を活動拠点に練習できる場所を希望します。
③勤務日数	週3~4日・大会前、合宿などを考慮していただければ幸いです。